

院外処方箋に記載されている検査値一覧(基準値:2020年10月19日現在)

略称/検査項目		項目の説明	基準値	単位
WBC	白血球数	細菌やウイルスが体内に入ってきた時に変動するので、感染の有無が分かります。	3500-9100	/ μ L
Hb	ヘモグロビン	貧血の有無や種類を知ることができます。	13.5-17.6(男性)	g/dL
			11.3-15.2(女性)	g/dL
PLT	血小板数	止血の働きをします。出血の際、血液が止まるかどうか知ることができます。	13-36.9	$\times 10^4$ / μ L
PT-INR	プロトロンビン時間-国際標準化値	血液の固まりやすさを知ることができます。	設定なし	
ALB	アルブミン	全身の健康状態を調べるができます。	3.8-5.2	g/dL
T-Bill	総ビリルビン	黄疸の有無や種類を知ることができます。	0.2-1.2	mg/dL
AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	肝細胞が炎症を起こしたりして壊れたりすると、細胞内からこれらの酵素が出て来ます。これらの酵素の量から肝細胞の状態を見ることが出来ます。	10-40	U/L
ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ		5-40	U/L
γ -GTP	γ -グルタミントランスペプチダーゼ	肝臓、胆道の状態を見ることが出来ます。薬剤性肝障害やアルコール性肝障害の指標となります。	≤ 30	U/L
CK	クレアチン・キナーゼ	骨格筋、心筋、脳、平滑筋などに障害をきたした時の診断や経過観察に有用です。激しい運動後でも高くなります。	62-287(男性)	U/L
			45-163(女性)	U/L
CRE	クレアチニン	腎臓から排泄される老廃物です。体内に残ったこれら老廃物の量から腎臓の状態を見ることが出来ます。	0.6-1.1(男性)	mg/dL
			0.4-0.8(女性)	mg/dL
Na	ナトリウム	水分やミネラルのバランスで、栄養状態や腎臓の状態を見ることが出来ます。カルシウムでは骨の状態や副甲状腺の状態を知ることができます。また、利尿剤を服用している時には、カリウムやナトリウムが低くなることがあります。	136-147	mEq/L
K	カリウム		3.6-5	mEq/L
Ca	カルシウム		8.5-10.2	mEq/L
血糖	血糖値	血中のブドウ糖量から糖尿病の有無を調べます。食後の検査では高くなります。	70-109	mg/dL
HbA1c	グリコヘモグロビンA1c	1-2ヶ月前の血糖の状態を知ることが出来ます。	4.6-6.2	%
HDL-C	HDL-コレステロール	LDL-Cは血管壁に溜まり、動脈硬化や心筋梗塞発症の危険因子とされ「悪玉コレステロール」、HDL-Cは溜まったLDL-Cを取り除く「善玉コレステロール」と呼ばれています。2つのバランスや全体の量(総コレステロール)、中性脂肪等から上記疾患の有無や程度を知ることが出来ます。	40-96	mg/dL
LDL-C	LDL-コレステロール		70-139	mg/dL

※検査結果の基準値は施設によって異なる場合があります。上記基準値は当院での結果のみにご参照ください。

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター